

# 町立下川中学校（内装木質化：平成 26 年度）

- 所在地 北海道上川郡下川町南町 417 番地
- 設置者 下川町
- 構造 鉄筋コンクリート造
- 改修延床面積 2,642m<sup>2</sup>

- 木材使用量 54.0m<sup>3</sup>  
うち地域材 53.9m<sup>3</sup>
- 使用樹種  
腰壁：カラマツ、トドマツ  
床：シラカバ、タモ、ナラ等



## ◆施設の概要

森林資源が豊富で林業・林産業が盛んな下川町の地域特性を活かし、学校施設において環境に配慮したエコスクールとして、地域材を利用した内装木質化を実施しました。

本施設は、昭和 52 年に建築された鉄筋コンクリート造の中学校であり、今回の内装木質化により 1 階から 3 階について、地域材を活用しながらタイル床をフローリングに改修し、さらに腰壁等を新たに設置しました。

## ◆工法等の特徴

校舎内の教室、玄関、廊下、階段、職員室などの床、腰壁、柱部分等を地域材に張り替え、教室の引き戸、ロッカーなどもカラマツ材、トドマツ材を利用しています。また、以下のとおり樹種の特性ごとに床材を使い分け、快適な空間をデザインしました。

シラカバ・カバ材：色が明るいので暗くなりがちな廊下に使用。

タモ材：比較的落ち着いた雰囲気を持つため、特別教室に使用し、普通教室との違いを演出。

ナラ材：重厚で硬く耐久性に優れているため、利用頻度の高い普通教室や金工室に利用。

カラマツ材：赤みのある華やかな色味を持つため、特別な雰囲気を演出したい音楽室や英語教室、また、来客数の多い会議室や展示資料室に使用。